

万引対策の強化 「連携を推進」

万防機構総会

全国万引犯罪防止機構（竹花豊理事長）は6月15日、都内で通常総会と討論会を開催した。

竹花理事長は、3月の「万引対策強化国際会議」で発表した「万引対策強化宣言」に関連した「新たな動き」として、組織的な万引犯罪対策で小売業者と警察関係者の情報交換会が行われた

ことを説明。防犯カメラ画像の活用をめぐる課題に触れて、「官民・民民の連携推進」を呼び掛けた。

機構の体制強化として「評議員」制度の新設などが承認された。

警察庁・山下史雄生活安



竹花理事長



山下生活安全局長

全局長は挨拶の中で「警察と事業者が情報集約などを『双方向』で行うことで、被害状況や犯人グループの動向を共有でき、検挙と抑止につながる」として、万引犯罪に対する取り組みの推進を説明した。

「外国人による集団窃盗対策」と題して竹花理事長と同機構の検討会メンバーがパネルディスカッションを行った。また、東京・渋谷の書店が連携して防犯体制を構築する7月スタートの「渋谷プロジェクト」の報告も行われた。

新役員は次の通り（敬称略）。【理事】相賀昌宏（日本出版インフラセンター）、

近江元（エイジスリテイルサポート研究所）、山内浩司（ジャパンプロテクトシステム）、稲本義範（全国万引犯罪防止機構）【監事】稲垣稔（稲垣会計事務所）